

彙報

平成八年度 仏教文学会大会
日時 平成八年六月一日(土)～三日
(月)

会場 立正大学

〔第一日〕六月一日(土)

◇委員会

◇講演会

開会の辞

講演

親鸞と歎異抄 成城大学 伊藤 博之

『更級日記』と法華経

立正大学 今成 元昭

◇懇親会(会場 立正大学第七会議室)

〔第二日〕六月二日(日)

◇研究発表

仏教説話文学に見られる「真実の陳述」

(satyavagana)の用法

京都大学大学院 石橋 優子

説話にみる十羅刹女

仏教大学大学院 小田 悦代

日本におけるシビ王本生譚の撰取と変容

国際日本文化研究センター

君野 隆久

往生伝の中世の変容

都立城南高校 谷山 俊英

『平家物語』の展開

―俊寛の位置付けをめぐって―

早稲田大学大学院 鈴木 彰

『海道記』における旅の意味

高野山大学 下西 忠

『私聚百因縁集』の教義

京都府立盲学校 黒田 孝博

不動・祐天・團十郎

―民衆宗教の側面―

祐天寺研究員 浅野 祥子

総会

閉会の辞 立正大学 白井 忠功

〔第三日〕六月三日(月)

◇史蹟見学会

日向薬師―心敬終焉地―太田道灌終焉

地(太田神社)―太田道灌菩提寺(道灌首

塚)―波多野城址・源実朝公首塚―大雄

山最乗寺―五百羅漢(宝玉寺)―箱根湯本・

宗祇終焉地・正眼寺・箱根観音稲寿院―

小田原・小田原城

平成八年度 本部例会

七月二十七日(土) 大谷大学

『発心集』の数寄説話と仏教思想

大谷大学大学院 広小路直人

岡本かの子の小説と仏教

―「金魚撥乱」と「維摩経」を中心に―

立命館大学大学院 外村 彰

『往生要集』と中世文学

仏教大学 笹田 教彰

「中国故事」の終極

―スペインサコレクシヨソ蔵

『呉越物語』をめぐって―

カルガリー大学 楊 曉捷

九月二十八日(土) 奈良女子大学

◇シンポジウム

泉鏡花と仏教

京都女子大学教授 弦巻 克二

高知大学助教授 谷川 恵一

奈良女子大学助教授 須田 千里

奈良女子大学教授 濱川 勝彦

十一月九日(土) 花園大学

『関寺縁起』の変遷

京都女子大学 中前 正志

『三宝感応要略録』をめぐって

法然と長明

—「一枚起請文「観念の念ニモ非ス云々」
などに関わりながら—

池坊短期大学 堀川 善正
十二月十四日(土) 同志社女子大学

◇シンポジウム

日本霊異記研究の可能性

花園大学

「長屋王説話の民俗学的背景」

九州大谷短期大学 山口教史

「日本霊異記の「貧」」

佐賀女子短期大学 藤 敏晴

「日本霊異記の創造力」

—「蛇をめぐる説話を中心に」—

司会 同志社女子大学 寺川真知夫

一月二十(土) 京都女子大学

西鶴文学と仏教 大阪城南女子短期大学(非)

上田 憲子

守覚法親王と性霊集

—表白文の語彙表現をめくって—

三重大学 山本 真吾

環境文学としての中世説話

京都女子高校 長島 正久

『発心集』の神祇説話について

—表教時魁機相応の論理と
神国思想—

花園大学 新聞 水緒
仏教文学関係図書特別展観

平成八年度 支部例会
七月六日(土) 国士館大学

◇講演

寛文五年版『源平盛衰記』考

錦城高等学校(非) 出口 久徳

『夢中間答集』における夢窓疎石の
教化の一考察

—撰者等をめぐる二、三の問題—

『往生至要抄』考
禅文化研究所研修員 西山 美香

—撰者等をめぐる二、三の問題—
明治大学政経学部兼任講師

十月五日(土) 国士館大学 山下 哲郎

平曲(平家琵琶) 橋本 敏江

「祇園精舎」

「維盛入水」

十二月七日(土) 国士館大学 新井 泰子

◇シンポジウム

「宝物集」を読む

日本学術振興会特別研究員

大島 薫
明治大学 山下 哲郎
大正大学 山田 昭全